



皆さん練習熱心です。



比内公民館



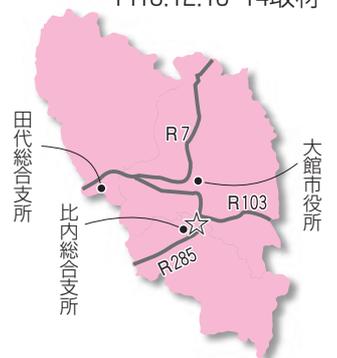
歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

あつてグッド¹⁹

市民の皆さんが
たくさん登場

☆今回訪ねたのは
「比内公民館」

H18.12.13・14取材



師

走は何かと忙しく、慌ただしいものと世間の相場は決まっていますが、ここ扇田地区では、外は寒いせいか、歩く人はまばら…。比内公民館に来ると、体育館や各部屋から元気な声や音楽が流れてきました。今回は比内公民館を利用する人々をターゲットに突撃取材の敢行！

比

内公民館から聞こえてくるノスタルジックな音色。もしか…。♪ピンポンで大正琴。「いつもは8人は来るんだけど、今日は5人ね」と大正琴すみれ教室の先生役、仙臺勝代さん（東雲町）。仙臺さんは、東京まで行って指導の資格を取ったのだとか。大したもんですね。「大正琴には、いろんな流派があつてね、それぞれに演奏の仕方も違うんですよ」。流派ですか。お茶やお花みたい。この同好会は、月2回の練習で、年に10曲程度新しい曲に挑戦しているとか。皆さん、家でも練習するほどの熱の入れよう。女性の中に黒一点の本間喜一さん（独鈷）は「大正琴は難しいからな。ほぼ毎日練習している。女房？ あれは（勧めても）やらない」。アララ、そうですねですか。本間さんは、83歳でこのサークルの最高齢。しかも一番の努力家だそうで、今なお衰えない向上心はすばらしい！「ウチの主人は、褒めてくれ

るのよ（笑）」と、ちょっぴり得意げな鈴木ユリさん（東雲町）。いいですねー。皆さん、もうベテラン？「この会は、10年ぐらいいなるんじゃないかしら」と本間タミさん（八幡町）。「私は、4年前から始めたんです。音色が良くてね。ボケ防止にもなるかと思って（笑）」とは、なぜか一番若い伊勢由美子さん（比内丁）。演奏会などが近づくと、毎日のように練習をするんだとか。

のように練習をするんだとか。すみれ教室の皆さんは、他にも市内の老人ホームへの慰問や、歳末チャリティー芸能まつりに出演したりと、なかなか活発な活動をされているそうです。これからもすてきな音色を響かせてくださいね。

日 が変わっての「あつてグッド」。太鼓や三味線の音が聞こえてくる部屋をのぞくと比内民謡同好会のこと。会長の高橋貴治さん（向田）からお話を伺いました。



左から本間タミさん、伊勢由美子さん、仙臺勝代さん、本間喜一さん、鈴木ユリさん。